

日本きもの美術館

JAPAN KIMONO MUSEUM

住所 福島県郡山市熱海町熱海5丁目211

電話 024-984-3021

開館時間 10:00~17:00

10:00~16:00 (オフシーズン)

休館日 1月~3月 (全日)

入館料 大人1,000円、大学・高校生700円、中学生以下500円

アクセス 磐越西線磐梯熱海駅より徒歩7分 /

磐梯熱海ICより車で5分 /

国道49号線から県道200号線に入り

車で5分

公式サイト <https://kimonomuseum.jp>



日本きもの美術館

JAPAN KIMONO MUSEUM

コレクションについて

素晴らしい出会いや巡り合わせにより、時代の中で見開きた着物を直接目にした感動は、驚きと喜びと安堵が襲います。偶々見掛けた着物は、派手な模様にも長さも幅もあり、裾には綿がたっぷり入り元遊郭の家から出た花魁の打掛で、実際に着用された物との話です。迫力のある花魁打掛は、この世にまだ残っていたのかと胸が一杯になりました。この出会いは、きもの美術館が花魁着物の収集で、日本一になるきっかけを作ってくれました。もう一つの日本一は、併用緋の銘仙着物です。精彩で大胆な手描き絵画風の着物模様には、アールヌーボー・アールデコ風のモダンな柄が芸術作品で「きものはアート」の一言です。一枚一枚が宝物、手にした時の弾む気持ちは永遠です。

開館経緯

時代のある着物は大変軽く、時の流れを感じます。一領の着物は、緻密な模様と広げた時の美しさに惚れ、美術品の着物を多くの方に見ていただき、残して伝えて行くものだと思う気持ちから、美術館開館に至りました。思いを繋いで世代を超えて新たに「さが美コレクション」として、前進して参ります。わたくしから・あなたへ、貴方から・世界へ、紡いでいく絹物語となりますように…



代表作と特徴

花魁道中着(明治時代) 黒緇子地羽衣松模様

— 花魁が遊郭からお茶屋へ行くときの5枚目に着用、3kはあります。

打掛(江戸時代) 青縮緬地御所解模様

— 大奥着用の打掛で、御所解とは風景模様のことです。

併用絣の銘仙着物(昭和初期) 蒙古襲来模様

— 色別の型紙を経糸・緯糸とも捺染し、模様を併せて織る高度な技術の併用絣。

着物 KIMONO



青縮子地電に百合模様
(大正時代)



暈し縮子地帖に流水撫子柳菖蒲模様
(大正～昭和初期)



黒縮緬地立ち菊模様
(昭和初期)

花魁 OIRIYAN



黒緇子地羽衣松模様
(明治時代)



黒緇子地紅葉孔雀羽模様
(明治時代)

打掛 UCHIKAKE



黒縮緬地秋草虫かご模様
(幕末～明治時代)



朱縮緬地青松鶴亀模様
(明治時代)

銘仙 MEISEN



スキー模様
(昭和初期)



蒙古襲来模様
(昭和初期)

振袖 FURISODE



薄浅葱縮緬地羽衣鶴亀菊模様
(明治時代)



紅葉の金閣寺模様
(昭和初期)



アルプス風景模様羽織
(昭和初期)



白縮子地鶏に太鼓松模様
(明治時代)



絹地雪持ち松笹鶴模様
(大正時代)



青縮緬地御所解模様
(江戸時代)



黒縮緬地橘に源氏物語絵巻模様
(大正時代)



黒染分け縮緬地朱鶴笹梅の木模様
(大正～昭和初期)

展示品の説明

- 着物 花魁・振袖・打掛・銘仙・お洒落着・男女襦袢・子供・羽織・変わり着物
- 蒔絵道具 蒔絵化粧箱等婚礼道具一式
- 小物類 ビラビラ簪・前簪・つまみ細工・櫛・簪笄・帯留め・筥迫・ピースバック・日傘
- 布物 花嫁のれん・幡・内敷・縮緬細工物